

参考資料 1

青梅市議会 環境建設委員会、全員協議会(要旨)

【環境建設委員会】令和7年12月9日（火）開催

【全員協議会】令和7年12月12日（金）開催

市議会報告事項

河辺町1丁目から3丁目地区におけるグリーンスローモビリティの本運行について

質疑、意見（要旨）

【運行全般】

- ・緑ナンバーから白ナンバーに変更したメリットは。
- ・国土交通大臣認定の講習とは、具体的にはどのような内容か。
- ・市が運行主体になった場合、乗務員や運行管理は委託か。運行管理は交通事業者が担うことになるか。
- ・自家用有償旅客運送の安全性は。
- ・運転手はどのような身分の方が、何人程度担うか（市の職員も運転するか）。
- ・人員確保の目途は立っているか。
- ・暑さ寒さなど、運転手に対する身体的負担が強い点はどのようにクリアするか。

【車両】

- ・今回2タイプ選んだ理由、それぞれの価格は。
- ・エンクロージャーはもう一方の車種にもあるか。
- ・耐久性、信頼性は。
- ・グリーンスローモビリティでなければダメか。価格は公用車より高い。
- 撤退した後などの処分が大変であり、一般的な車であれば、何かあった時に他にも使える。
- ・一般の6～8人乗りの車両を塗装した方が安いのでは。
- ・一般的な車両であれば、タクシー事業者が所有する車両でも良いのでは。
- ・グリーンスローモビリティから、自家用有償旅客運送に変わった。

他自治体の「自家用有償旅客運送」の事例では、グリーンスローモビリティ以外の車両でも運行している。安全かつ定期的な運行で、この車両にこだわらず、より広く、様々な方法で、できるのでは。

【運賃】

- ・料金の根拠は。また、何人くらいの利用を見込むか。
- ・実証運行の際のフリーパスの発行は予定しているか。

【時刻】

- ・運行間隔や運行本数は。

【収支】

- ・経費はどのくらいかかるか。市が運行主体となった場合、赤字額が大きくなるのでは。
- ・採算を考えたときに、どのくらいの収支になるか。

- ・収支率とは。また、収支率の中に車両の償却費は含まれないか。
- ・運行にかかる補助金はあるか。

【その他】

- ・運行開始が遅れることの理由は。
- ・公共交通協議会での協議状況は。
- ・市議会にて様々な意見が出たことは、必ず公共交通協議会で伝えてもらいたい。
- ・公共交通協議会の傍聴者の定員を増やせないか。
- ・仮設テントに替わる、車庫の設置が必要では。

協議について

本資料は、12月15日開催の河辺南公共交通推進委員会にて共有しました。

本日開催の公共交通協議会でも、市議会での意見を共有し、車両を中心に、広く協議することといたします。

以上